

# せん孔細菌病 春型枝病斑を切除してください！！

開花前後頃になると、せん孔細菌病の春型枝病斑がハッキリと確認できるようになります。この枝病斑を放置すれば、病斑から葉、葉から果実へとせん孔細菌病の感染拡大を招きます。園地の状況を確認し、見つけ次第切除してください。

- 枝の中間部だけでなく、先端部～中間部にかけて芽や枝が枯れている症状が多く見られます。疑わしい症状の枝も切除してください。
- 特に4～5月末までは、農薬の散布間隔10日以内を厳守しましょう。

現在、園地で多く見られる枝病斑①～③

① 枝の先端が枯れる症状



② 枝の先端が枯れる症状



③ 枝の中間部の芽が枯れる症状



典型的な枝病斑

(芽の基部が黒褐色、ひび割れ、陥没している)



ご不明な点は、園芸技術課・担当へお問い合わせください。(電話23-3933)